

作成日 2024 年 4 月 8 日
(最終更新日 2024 年 5 月 30 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5008

課題名 : 当科における中咽頭癌に対する経口的咽喉頭部分切除術 (TOVS) 症例の検討

1. 研究の対象

2010 年 4 月～2021 年 7 月に当院で中咽頭癌に対して TOVS を受けられた方

2. 研究期間

2024 年 6 月 (研究実施許可日) ～2027 年 9 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2024 年 6 月 1 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

近年、咽頭、喉頭の早期がんに対して口腔内から病変を切除する経口的咽喉頭部分切除術 (TOVS) と呼ばれる内視鏡手術の有用性が報告されています。一方、本邦において中咽頭の早期がんに対する経口的ロボット支援手術 (TORS) というロボット手術も普及してきています。

しかし、内視鏡手術とロボット手術の治療成績について比較・検討された報告は多くありません。そこで当施設で中咽頭癌に対して TOVS を行った患者さんを対象として治療成績や合併症を診療録(カルテ)から調べ、中咽頭癌に対する内視鏡手術の有用性、安全性、特徴を検討することを調査研究の目的としています。

5. 研究方法

本研究はカルテに記載されているデータを用いる (既存情報のみ用いる) 観察研究で、人体の試料を用いません。対象は 2010 年 4 月から 2021 年 7 月までに当施設で中咽頭がんに対して TOVS を施行した患者さんのカルテから性別、年齢、飲酒、喫煙歴、頸部照射歴の有無、同時重複癌の有無、原発部位、病期分類、手術日、頸部郭清術の併施、術後出血の有無、気管切開実施の有無、その他合併症、食事開始日、術後在院日数、病理組織学的検査所見、術後治療の有無、嚥下機能、再発部位および再発日、最終生死確認日、喉頭温存の有無を調べ、経口的咽喉頭部分切除術の有用性、安全性を検討します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

試料は用いず、情報 (診療録の記載内容) のみです。

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本校単独研究

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

該当なし

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院耳鼻咽喉科 宇野 光祐

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 5122）電話対応時間 9時から 16時

unok-0125@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院耳鼻咽喉科 宇野 光祐